

Q あなたご自身について

資料 2

あなたご自身のことについてお聞かせください。

F1 性別

- 1 男性 2 女性 3 無回答

F2 年齢層

- 1 19歳以下 2 20～29歳 3 30～39歳
4 40～49歳 5 50～59歳 6 60～69歳
7 70～79歳 8 80歳以上

F3 居住地域

- 1 鹿角地域（鹿角市・小坂町）
2 北秋田地域（大館市・北秋田市・上小阿仁村）
3 山本地域（能代市・藤里町・三種町・八峰町）
4 秋田地域（秋田市）
5 秋田地域（男鹿市・潟上市・五城目町・八郎潟町・井川町・大潟村）
6 由利地域（由利本荘市・にかほ市）
7 仙北地域（大仙市・仙北市・美郷町）
8 平鹿地域（横手市）
9 雄勝地域（湯沢市・羽後町・東成瀬村）

F4 職業

- 1 正規の職員・従業員（役員を含む）
2 非正規の職員・従業員（期間従業員、契約社員、派遣社員を含む）
3 自営業主・自由業（自分で、又は共同で事業を営んでいる）
4 家族従業者（家族が営んでいる事業を手伝っている）
5 主婦・主夫
6 学生
7 リタイア、無職
8 その他

Q4-2 あなたが秋田県に住む上で、重要だと思う項目はどれですか。（○は3つまで）

- 1 民俗芸能等の地域の伝統文化があること
- 2 様々な価値観を反映した多様な文化芸術があること
- 3 子供たちが学校や地域で文化芸術に日常的に触れることができること
- 4 経済的状況に関わらず、人々が地域で文化芸術に日常的に触れることができること
- 5 障害者が排除されることなく文化芸術に触れることができること
- 6 性的少数者が排除されることなく文化芸術に触れることができること
- 7 外国人が排除されることなく文化芸術に触れることができること
- 8 その他（）
- 9 特にない
- 10 分からない

4 文化芸術活動の活発化と鑑賞機会の充実

Q 1 0 あなたがお住まいの地域に、文化芸術団体が気軽に発表し、住民が日常的に文化芸術に触れることのできる場はありますか。(○は1つ)

- 1 地域にあり利用している
- 2 地域にあることは知っているが、ほとんど利用していない
- 3 地域にない
- 4 地域にあるかどうか分からない

Q 1 1 あなたがお住まいの地域の文化芸術に親しめる環境を充実させるためには、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設を増やす
- 2 文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報を増やす
- 3 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業を増やす
- 4 芸術家や文化芸術団体の活動の支援
- 5 著名な芸術家を呼ぶ
- 6 伝統芸能や伝統行事などの継承・保存
- 7 文化財、歴史的な建物や遺跡などをいかしたまちづくりの推進
- 8 子供が文化芸術に親しむ機会を増やす
- 9 文化芸術活動の表彰・顕彰
- 1 0 文化芸術活動の記録・保存・発信のデジタル化
- 1 1 その他 ()
- 1 2 特にない
- 1 3 分からない

Q 1 2 美術館やホール・劇場などの文化施設を地域の文化芸術活動の拠点(主な活動場所)とするために、県や市町村は特にどのようなことに力を入れたら良いと思いますか。(○は3つまで)

- 1 展覧会や公演を企画運営するために必要な専門知識を持つスタッフを養成する
- 2 作品や公演を楽しむ団体や、企画や運営に加わるボランティアを育成する
- 3 サービス向上のための企画運営面の工夫やコスト縮減に民間の知恵や工夫を取り入れる
- 4 利用者のニーズに合わせ利用時間や利用方法の見直しを行う
- 5 高齢者や障害のある人でも利用しやすくなるように設備を整える
- 6 学校や福祉施設などへ出向いて行う館外活動を充実させる
- 7 優れた展覧会や公演などの鑑賞機会を増やす
- 8 催物の広報、周知を増やす
- 9 その他 ()
- 1 0 特にない
- 1 1 分からない

Q 1 3 子供や高齢者、障害のある人、生活に困窮している人など多様な人々が文化活動を行い、楽しめるようにするため、どのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 特別な配慮が必要となる人のために特別な機会を用意する
- 2 誰もが同じ機会に活動できるような支援を行う
- 3 高齢者や障害のある人、生活に困窮している人などに対し、文化施設の入場料などを低額又は無料にする
- 4 音声ガイドや多目的トイレ、スロープの設置など、施設のバリアフリー対応を増やす
- 5 作品の解説やワークショップの開催などにより、交流の場を作る
- 6 鑑賞、創作活動を支援するサポート人材、コーディネーター人材を育成する
- 7 年齢や障害の有無に関わらず、情報を入手しやすい環境をつくる
- 8 障害のある人が創作した作品などを鑑賞できる機会を増やす
- 9 その他 ()
- 1 0 特別な支援を行う必要はない
- 1 1 特にない
- 1 2 分からない

Q 1 4 文化芸術に関する情報を得ることができるようにするためには、どのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 新聞(折り込み広告も含む)、テレビ、ラジオなどのマスメディアを活用した情報提供
- 2 県や市町村の広報誌によるPR
- 3 文化芸術に関する定期的な雑誌などの発行
- 4 インターネットやフェイスブックなどのソーシャルネットワークサービスによる情報発信
- 5 LINEやメルマガなどによる個別の情報発信
- 6 文化施設内などにおける情報発信
- 7 その他 ()

Q 1 5 あなたは、どうすれば美術館や博物館をはじめとする文化施設にもっと出かけやすくなると思いますか。(〇は3つまで)

- 1 住んでいる地域やその近くに文化施設ができる(増える)、交通の利便が良くなる
- 2 入場料が安くなる
- 3 閉館時間を遅くして、夜間でも鑑賞できるようにする
- 4 開催されるイベントなどの情報が広く丁寧にお知らせされる
- 5 年齢や障害の有無に関わらず利用しやすく、小さな子供を連れていても安心な設備やサービスが増える
- 6 著名な芸術家や地域にゆかりのある芸術家の公演や展覧会が開催される
- 7 作品の解説やワークショップの開催などにより学びの機会が提供される
- 8 周辺の文化施設や観光施設との共同パスなどにより、周遊しやすい仕組みが作られる
- 9 その他 ()
- 1 0 特にない
- 1 1 分からない

5 次代を担う後継者や若手アーティストの育成と活動支援

Q 1 6 あなたは、子供が文化芸術を体験する場合、どのような取組が必要だと思いますか。

(○は3つまで)

→機会が十分であるか？は他の問でも同様

- 1 学校における公演や展示などの鑑賞体験を増やす
 - 2 学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を増やす
 - 3 学校における華道、茶道、書道などの生活文化の体験機会を増やす
 - 4 郷土料理や年中行事の料理などの食文化の体験機会を増やす
 - 5 歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を増やす
 - 6 学校と地域の文化芸術施設や機関との連携を強化し、校内外で一体化した文化芸術教育を行う
 - 7 ホール・劇場や美術館・博物館など地域の文化施設における、子供向けの鑑賞機会や学習機会を増やす
 - 8 地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多くつくる
 - 9 その他 ()
- 1 0 特にない
1 1 分からない

Q 1 7 子供の文化芸術体験について、あなたが期待する効果は何ですか。(○は3つまで)

- 1 美しさなどへの感性が育まれる
 - 2 コミュニケーション能力が高まる
 - 3 創造性や工夫をする力が高まる
 - 4 他者の気持ちを理解したり思いやりたりするようになる
 - 5 学校生活における自信が付く
 - 6 日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる
 - 7 他国の人々や文化への関心が高まる
 - 8 文化芸術活動を将来続けていきかけとなる
 - 9 その他 ()
- 1 0 特にない
1 1 分からない

Q 1 8 文化芸術活動に関わっている方にお聞きます。

活動を行う上で、あると良いと思う支援は何ですか。

(○は3つまで) (※出演、運営、裏方など、関わり方は問いません。)

- 1 文化芸術活動に対する助成金
 - 2 文化芸術活動に関する情報発信、周知、広報
 - 3 文化芸術活動の成果を活かすことのできる機会や場をつくる (公募、コンクールなど)
 - 4 文化芸術活動のオンライン発信のための支援
 - 5 人的ネットワークづくりのための機会や場をつくる
 - 6 人材育成・後継者育成の支援
 - 7 文化芸術活動の発表・練習などを行うことができる施設の提供
 - 8 観光・福祉・教育・産業など、他の分野と連携するための支援
 - 9 その他 ()
- 1 0 特にない
1 1 分からない

→不要でないか？

6 文化芸術の継承と発展、創造

Q19 あなたは、県特有の食文化や民俗芸能、地域の伝統行事（お祭りなど）の継承が図られていると思いますか。（○は1つ）

- 1 十分に図られていると思う
- 2 どちらかといえば図られていると思う
- 3 どちらかといえば図られていないと思う
- 4 図られていないと思う
- 5 分からない

Q20 あなたは、この5年間に、お住まいの地域の伝統行事や民俗芸能の伝承活動に関わりましたか。（※出演、運営、裏方など、関わり方は問いません。）（○は1つ）

- 1 関わったし、今後も続けたいと思う
- 2 関わったが、今後は続けたいとは思わない
- 3 関わっていないが、今後参加してみたいと思う
- 4 関わっていないし、今後も参加したいとは思わない

→鑑賞は除外した

Q20-2 前の質問で、「2 関わったが、今後は続けたいとは思わない」又は「4 関わっていないし、今後も参加したいとは思わない」と答えた方にお聞きます。

あなたがそのように考える理由は何ですか。（○は3つまで）

- 1 時間的な余裕がない
- 2 参加を申し込む連絡先が分からない
- 3 一緒に活動する仲間がいない
- 4 参加者があらかじめ決められている（当番制、自治会役員など）
- 5 関係者との付き合いが苦手
- 6 参加にかかる費用が高い
- 7 興味がない（楽しいと思えない）
- 8 その他（ ）

Q21 文化芸術活動に関わっている方にお聞きます。

地域の伝統行事、民俗芸能の保存、継承に関して、今後、県や市町村は特にどのようなことに力を入れたら良いと思いますか。（○は3つまで）

- 1 指導者を養成・派遣する
- 2 練習や後継者養成の場となる施設をつくる
- 3 子供たちが民俗芸能を演じることができるよう学校教育で取り組む
- 4 地域のみでの保存・継承が困難なものについては、地域外からのボランティアによる支援などを図る
- 5 民俗芸能の公演などの機会を増やす
- 6 民俗芸能を保存・継承する団体や人々の交流活動を支援する
- 7 現存する民俗芸能などを映像として記録、保存し、インターネットなどで広く見ることができるようにする
- 8 地域の民俗芸能の保存・継承活動に対し助成する
※具体的に（ ）
- 9 特にない
- 10 分からない

7 地域の文化芸術資源をいかした交流人口・関係人口の拡大

Q2 2 あなたは、文化芸術資源を活用して観光客を増やしたり、それによって地域が活性化したり、県外や海外から注目されたりするようになるためには、どのようなことが重要だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている
- 2 歴史的な建物などを活用したイベントが開催される
- 3 文化財と周辺の景観に統一感や一体感がある
- 4 さまざまな文化芸術の鑑賞や、茶道、華道、書道、和食などの生活文化の体験ができる総合的なイベントが開催される
- 5 文化芸術資源の所在や内容に関する充実した情報が分かりやすく表示・解説されている
- 6 文化芸術について学べたり、体験できたりする講座やツアー、ワークショップなどが充実している
- 7 公衆無線LANなどの通信環境が整備され、文化芸術資源に関する情報が入手しやすい
- 8 訪日外国人への対応（多言語対応やさまざまな文化、風習に対応するサービス）が充実している
- 9 文化芸術資源周辺への交通手段、トイレ、歩道、バリアフリー対応などの環境が整備されている
- 10 その他（)

8 その他

Q23 県の文化芸術の振興に関する事で、具体的な意見がありましたらお聞かせください。

これでアンケートは終わりです。
御協力いただき、誠にありがとうございました。

県の文化芸術推進基本計画「あきた文化振興ビジョン」はこちら
県内の文化イベント情報は、あきた文化情報サイト「ブンカdeゲンキ」から